

I 第15週の発生動向 (2009/4/6~2009/4/12)

1. インフルエンザについては、前週まで発令されていた警報および注意報はすべて解除となりました。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、八戸、上十三保健所において、前週に引き続き**警報**が発令されています。
3. 急性出血性結膜炎については、青森市保健所管内において、新たに**警報**が発令されています

II 第15週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

		東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数					
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	
小児科 内科	(85) インフルエンザ	31	2.2	74	4.9	115	8.2	18	2.6	86	9.6	4	0.8	328	5.1	-180	4	2.0	27	2.3						
小児科	(74) RSウイルス感染症	1	0.1	1	0.1									2	0.0	-2			1	0.1						
	(75) 咽頭結膜熱	6	0.7					1	0.2	1	0.2	4	1.0	12	0.3	7			6	0.8						
	(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.8	26	2.9	22	2.4	4	0.8	30	5.0	6	1.5	95	2.3	-14			7	0.9						
	(77) 感染性胃腸炎	74	8.2	50	5.6	15	1.7	18	3.6	41	6.8	54	13.5	252	6.0	-33	6	6.0	68	8.5						
	(78) 水痘	21	2.3	1	0.1	18	2.0	1	0.2	9	1.5	2	0.5	52	1.2	-25	1	1.0	20	2.5						
	(79) 手足口病	13	1.4	1	0.1									14	0.3	1			13	1.6						
	(80) 伝染性紅斑	1	0.1	3	0.3	1	0.1			1	0.2			6	0.1	-5			1	0.1						
	(81) 突発性発疹	8	0.9	3	0.3	3	0.3	2	0.4	7	1.2	3	0.8	26	0.6	5			8	1.0						
	(82) 百日咳									2	0.3			2	0.0	1										
	(83) ヘルパンギーナ															0										
	(84) 流行性耳下腺炎	4	0.4	2	0.2			1	0.2			2	0.5	9	0.2	-5			4	0.5						
眼科	(86) 急性出血性結膜炎	2	1.0											2	0.2	2			2	1.0						
	(87) 流行性角結膜炎															-4										
基幹	(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	6	6.0					4	4.0	11	1.8	4										

保健所名	定点数		
	インフルエンザ	小児科 (内科+小児科)	眼科 基幹
東地方	2	1	0
青森市	12	8	2
弘前	15	9	3
八戸	14	9	2
五所川原	7	5	1
上十三	9	6	2
むつ	5	4	1
合計	64	42	11

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前2人、八戸3人

(21年計：92人)

(55) レジオネラ(四類全数把握疾患)：弘前1人

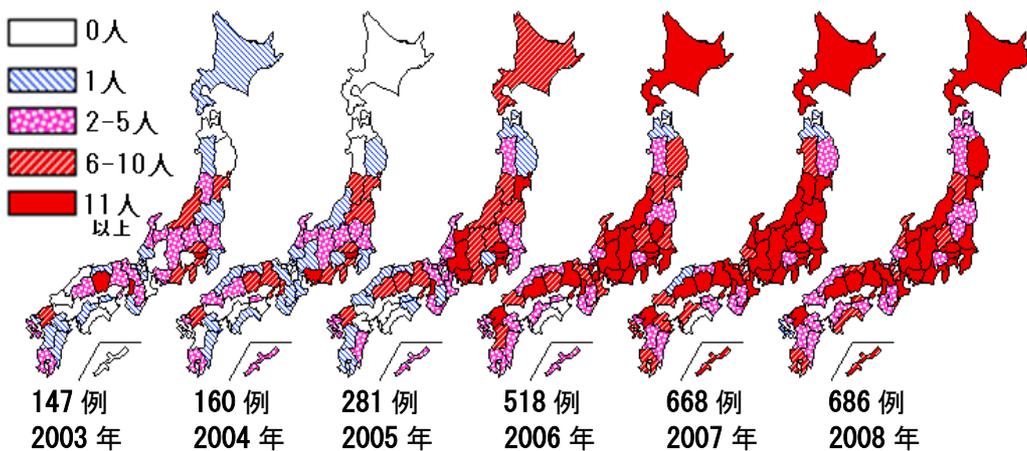
(21年計：2人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

レジオネラ症

(四類全数把握疾患)



【症状】
ポンティアック熱型：
 突然の発熱、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛など。一過的で予後良好。
肺炎型：
 乾いた咳の後に痰を伴う咳、更に高熱、悪寒、胸痛、呼吸困難、神経症状など。

図 レジオネラ症患者発生状況 (2003年~2008年9月) IASRより引用

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による呼吸器系の感染症です。本菌は、自然環境の水、土壌、空調の冷却水などに生息していますが、本菌に汚染されたお湯や水から発生したエアロゾルや塵埃を吸い込むことによって感染します。症状には、ポンティアック熱型と重症な肺炎型があり(表)、高齢者や新生児、免疫力が低下した場合は肺炎を起こす危険性があります。青森県においても2008年に2人、本年は第4週に1人、第15週には2人目の届出があり、これら4人の病型は、いずれも肺炎型でした。突然の発熱、倦怠感、頭痛などの症状が現れた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

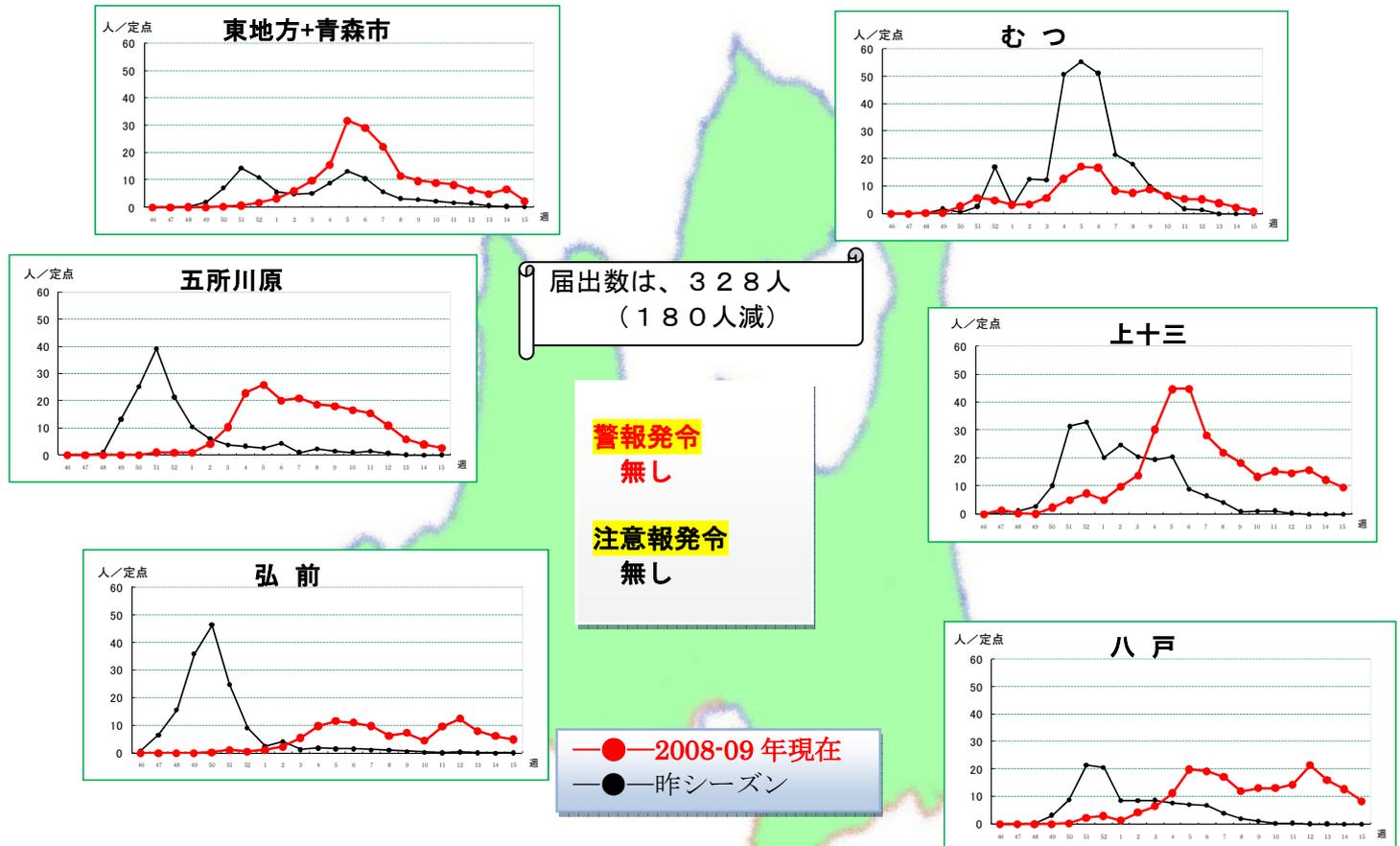
IV インフルエンザ情報 第15週 (4/6~4/12)

迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	4	74	115	18	86	4	27
A型	0	6	12	6	15	1	1
B型	4	68	94	12	68	3	7

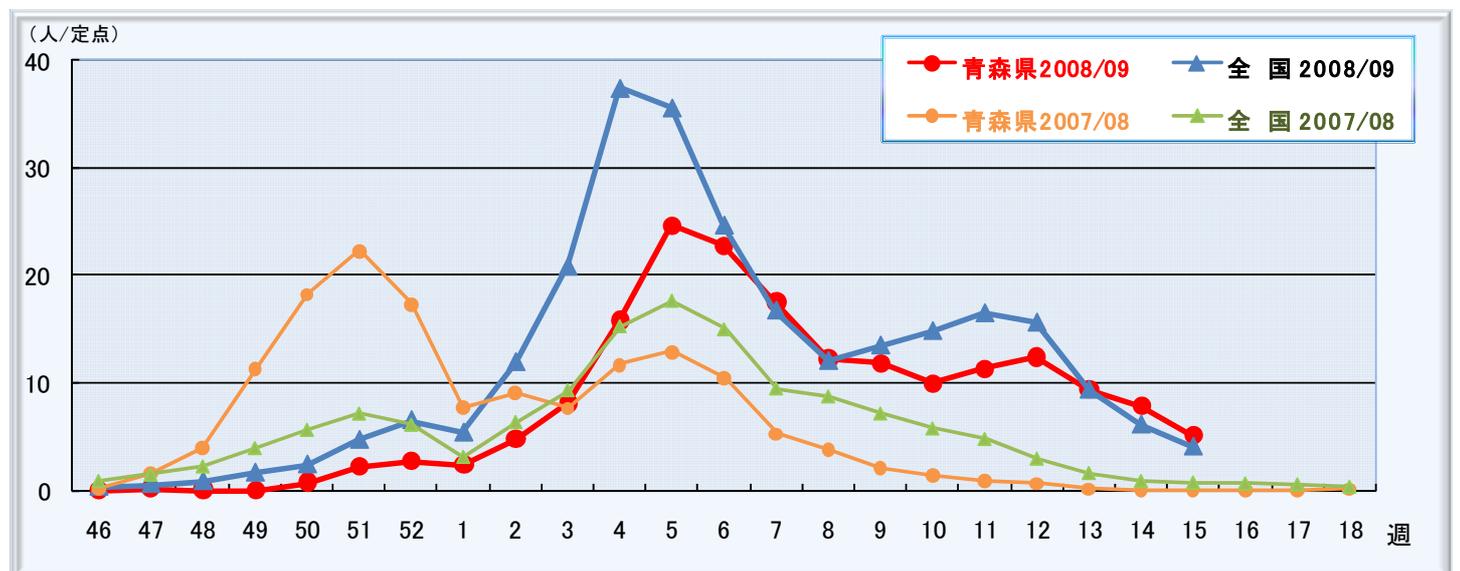
県全体の届出数は大幅に減少しましたが、B型の検出が続いており、A型に感染し軽快した後にB型に感染することもありますので、今後もインフルエンザ感染予防対策を継続することが必要です。

V 保健所管内別届出数推移 *Adobe Readerは、最新のバージョンをお願いいたします。



注：警報開始基準値は30人/定点、終息基準値は10人/定点、注意報レベルは10人/定点です。

VI 全国及び青森県における届出数推移 (2007-2008シーズン - 2008-2009シーズン)



関連情報 今年度の標語 《あ、その咳、そのくしゃみ～咳エチケットしてますか?～》

厚生労働省：今冬のインフルエンザ総合対策について <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaaku-kansenshou01/index.html>

保健衛生課：インフルエンザの予防について http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal_flu.html

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報 http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html